

コンサルテーション事業報告

事業の名称	防災教育開発支援	事業代表者	谷口 和也
対象	小学生・中学生・高校生、学校教員、防災教育と地域づくりに関する事業を実施している諸機関		
目的と内容	<p>①目的 学校における防災教育の開発、授業計画への組み込みのコンサルテーション、学校教員への講習会、児童・生徒への授業実践。 校種間連携のためのカリキュラム開発およびコーディネート、防災教育をつうじた学校と地域連携やまちづくりのためのコーディネート。</p> <p>②内容 学校における防災教育カリキュラムの開発・実践 学校における防災教育カリキュラムの教員対象の講習会 学校間を貫く校種間連携カリキュラムのコーディネート 防災教育を通じた学校 - 地域連携のコンサルテーション 地域住民を対象とした防災教育の実践</p>		
実施日および実施回数	<ul style="list-style-type: none"> ・06月15日、07月13日、09月21日、10月26日、11月16日、30日、02月15日 仙台八木山防災連絡会コンサルテーション (約30名) ・06月26日 八本松市民センターコンサルテーション (約10名) ・07月19日、08月06日、09月12日 西多賀市民センター主催 防災を通じた学校とまちづくりコンサルテーション (約10名) ・08月19日 仙台市立中田中学校教員向け防災教育講習会 (約40名) ・09月23日 仙台市内市民センター合同防災シンポジウム (約120名) ・11月11日 川崎市PTA連絡協議会への防災教育事例講演 (約15名) ・11月18~22日 仙台市立八木山南小学校防災授業 (約80名) ・12月07日 仙台八木山防災連絡会「防災シンポジウム」(130名) ・02月14日 全国子ども会連合会全国大会基調講演 (約400名) 		
実施場所	市内小中学校、市内市民センター、その他		
主なスタッフ	<p>谷口和也 (東北大学大学院教育学研究科・准教授) 長田健一 (東北大学大学院教育学研究科・博士課程後期) 斉藤仁一郎 (東北大学大学院教育学研究科・博士課程後期)・他2名</p> <p>[学外協力者]</p> <p>田中礼治 (東北工業大学・名誉教授) 並河浩一 (仙台市八木山市民センター・館長) 武修司 (仙台市西多賀市民センター・館長)・他4名</p>		

今年度のコンサルテーションの要請元は、大きく分けて四つに分かれる。①仙台市立中田中学校および中田市民センターの市民向け防災講座、②仙台市八木山防災連絡会と八木山中学校区の学校一地域連携および校種間連携カリキュラムのコーディネート、③西多賀市民センターが中心となつて行われた仙台市内市民センター合同の防災教育を通じた地域づくりのコンサルテーション、④全国子ども会連合会や川崎市 PTA 連絡協議会からの要請で防災教育を通じた地域参画についての基調講演及び各連合会への実践資料提供であった。



中田地区での教員向け講習

①の仙台市中田地区において、中学校一市民センター講座一町内会防災訓練を連動させた防災教育のカリキュラム設計のコンサルテーションに加え、防災教育の実践方法に関する講習会を教員向けに行った。

②仙台市八木山地区においては、小学校一中学校一仙台城南高校を結ぶ校種間連携のカリキュラムのコンサルテーション、防災を通じた若者の地域参画を促す連携方法のコンサルテーション及び八木山南小学校での小学6年生2クラス対象の授業実践を行った。また、同地区においては、地域諸団体の要請に従ってこの実践の成果を報告し地域住民とディスカッションする「地域防災シンポジウム」の企画・運営・司会を行った。

③西多賀市民センターにおいては、西多賀市民センターを中心として仙台市内各市民センター、西多賀地区、市内ジュニアリーダーの協力体制を築くためのコンサルテーション及びシンポジウムの企画・運営・講演を行った。

④その他、仙台市内でのコンサルテーション事業の成果について様々な機関からの講演の要請があった。11月に来仙した川崎市 PTA 連絡協議会の調査団への講演、2月に開催



八木山地区での「地域防災シンポジウム」

された全国子ども会連合会の全国大会での基調講演がこれにあたる。その他、今年度の事業に対して、仙台市の教育委員会から7月と9月に教員向けの講演を依頼された。

その他、コンサルテーションの一環として、希望する学校に対して防災教育教材及び使い方マニュアルの DVD の提供を行った。